

薬害を知る催しが目白押し♪

みずか
自らが害を被ることのない限り薬害を知ることは無いご時世。知る機会は貴重です。是非、足を運んでみてください。(・大阪はきつつかないかな・)

☆No.1 企画展「薬害を語り継ぐ」サリドマイド、スモン、薬害ヤコブ☆

10月17日(土)～12月19日(土)

大阪人権博物館 リバティおおさか 特別展示室とリバティホール

薬害永久根絶を目指して闘う被害者の過去と現在を資料、写真、映像、被害者の証言で伝えます。

*開館日・時間・場所・内容詳細→<http://homepage1.nifty.com/hkr/yakugai/>

☆No.2 第17回薬害根絶フォーラム (in おおさか) ☆

11月7日(土) 13:30～16:30

リバティホール(大阪 リバティおおさか)

No1の関連企画(シンポジウム)として開催されます。

薬害被害の実態報告・徹底討論

☆No.3 新医協第68回全国研究集会 薬学領域部会分科会☆

11月8日(日) 13:20～16:30 東京労働会館(大塚ラパスビル)BF1

-今、薬剤師職能と医薬分業を問う- プログラム詳細はNETでGET

精神疾患患者理解の共有化と薬剤師の「役割」・プライマリケア臨床薬剤師研修を通して・

薬局における無料低額診療・在宅訪問活動と

医療連携・開局薬局の実情・「国民のため」



(目白押しの続き♪)

→「医薬分業」の基盤を問う・医薬分業バッシングの中、真に国民に求められる薬剤師活動を考える・今日に至る「医薬分業」の経緯と課題に関する分析

☆第24回国民の医薬シンポジウム☆

11月23日(月・祝) 東京大学鉄門講堂にて

午前; 10:00～12:00 プログラム詳細は「第24回国民の医薬シンポジウム」で検索

【国民の求める薬剤師のプロフェッショナリズムとは】

午後; 13:30～17:30 プログラム詳細は「薬害オンブズパーソンHP」からGET

【子宮頸がんワクチン問題を考える-海外からの報告を踏まえて】

午後は薬害オンブズパーソン会議・全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会・国民の医薬シンポジウム実行委員会の共催で、デンマークより来日中の医師を招き、「子宮頸がんワクチン」問題についてのシンポジウムを開催します。



～「薬害は無くせるか」の命題に・・新人研修会におじゃまして～
グループワークでこの命題が「無くすことは無理」という発言がそこそこに。

そうかもしれない、現実そうです・・だから悔しいですよ。

ある医学生が「どうして薬剤師は6年制にまでなったのに薬のことをDrにもっと強く言えないのか?」と言われたことを(この研修で)話しました。

6年制前の薬剤師の力不足? 責任認識の差? どうしてこう言われるの・・正直動揺。

でも、すぐにこう続きました・・「医学部の薬学の講義なんて本当にわずか。薬剤師の薬の知識とは遥かにちがうはず(どっちが多い・)。もっと言うべき立場にあるはずなのだと思う」と・。(実は「続く言葉」を新人研修で伝えできていませんでした。)

繰り返される薬害に対し、反省を忘れず、同じような原因に対して、イタチごっこの様に^{ほころ}綻びを^{つくり}繕いながらも、前進は^せではないかな・と。長期戦です。

この長期戦の中で、薬の専門家としての厳しい目と発信力は、薬害再発の抑止力になると思い直しました。さあ! 自信をもって専門家になるにはどうしましょうかね。

専門家の知識ゲットになるかな・・どんぐり工房・菅野彊先生の講義をかいつまんで掲載していこうと思います。